

夕刊

電燈料金値下問題と善後策

熱東生寄

珍案料金認可制

損失は需要者に轉へ

不況に當面して過剰電力の

處分に悩み、各會社共巨額の

債務を背負つて身動きも

不能の状態となり、減資配

が結局は欠損の穴埋めに使

はれたに過ぎなかつたとの

事である、如斯其經營の不

完全より、不當にも需要者

の負担増加に轉化され、今

日高い電燈料金に甘んじ

るに對し、ようとして居る

需要者たるが、近頃電燈料

金の認可制等と云ふまい

が本格的に電燈會社の資産

を考へ出して、値下げ運動に手をや

いた當業者は、近頃電燈料

金の認可制等と云ふまい

を調査する事になる。ある

に對しては、『一キロワッ

ト』を示し、小口供給に對して

は云ふべきである。

が、古くから云ふ通り、法

を制定するものはその法に

に由来ならない次第であ

る。

要者とのこた／＼の逃げ口

上ばかりの虎を追うて後門に

狼の見舞を受けると云ふ始

て、誰が見る處も電燈會社

の資産調査にはちよつと逃げ

れば今日深刻なる財界

の言葉は見當らないであろう

が赤裸々に證明した問題で

約定期限とか其他色々事情

数字と算盤とをつきつけら

て云ふのが當然の事となる

丸に二ツ引の定紋を以て

の事である。

が、大口供給に對しては

以前の四分の一以下の値段

である。

野田の玉川豫算

金校の憧れを一

まさに春だ

野の玉川豫算

身に鍾め女理博

途指導の家元郡

た平の先生達。

角突き合ひの平

を吹かす

農會へ凋落の風

お祝に湯豆腐で

一杯と云ふ處

町會へお花見客

武『無禮者めづ』と又一つ

吸收策の相談。

繁に續いて來た角、此邊は

見られない、又假に火力自

然賣ら、四厘なら買つても

よいと云ふ交渉の取りくま

れた事實もある之には契

約定期限とか其他色々事情

数字と算盤とをつきつけら

ての事である。

が過剰電力の處分に悩みつ

て、發電所を起して、發電す

ト抱締てバラ／＼走り出す

込んで来る、件の武士はヒ

トヨコリ委を現はしたのぞ

鐵扇を引き一足さがつ

て、彼等はお房を喜知をかどわ

ラリ體を振じてガチャリ、

己の無禮の徒でも、抜き

手を打込む、夫婦は

にすきがあつたから切込ん

吉運の様にして不安の念の

去らざる注意日△九紫の人

横車を押ぬやすにすれば人

内を守るが平△八白の人

吉運の様にして不安の念の

拔き身を持つて居ります

角『人の仕事を邪魔をしや

いた奴等ではありませんか

横車を押ぬやすにすれば人

身に鍾め女理博

遠方もねへ三ビ

中でござります、別段武士

の無法だ、スキの無いとこ

先をバツと鐵扇で横なぐ

りにソ／＼やつこさんビ

りと手がしびれたから驚い

て、刀を其處へ投出すと

刃を其處へ投出すと

刃を其處へ投出すと

刃を其處へ投出すと

刃を其處へ投出すと

刃を其處へ投出すと

刃を其處へ投出すと

刃を其處へ投出すと

刃を其處へ投出すと



拈華微笑

黒田督學官の聲

小腕をビシリツ警ア痛ノ

傍に少さくなつて居ります

大事を被ることあり世話

事も注意△七赤の人外に

五色△廿二字第一行六

金六枚は

五色△廿二字第一行六

金六枚は

五色△廿二字第一行六

金六枚は

五色△廿二字第一行六

金六枚は

五色△廿二字第一行六

金六枚は

五色△廿二字第一行六

金六枚は

五色△廿二字第一行六

行發

日五十二月二

行發

定價

一冊全五

五冊全

講談

元禄名妓傳



夜

三三

内十

科病

皮膚病專門

病

婦人病

療

院

松材

院

診

三三

内十

科病

皮膚病專門

科

病

婦人病

療

院

松材

三三

内十

科病

皮膚病專門

科

病

婦人病

療

院

松材

院

三三

内十

科病

皮膚病專門

科

病

婦人病

療

院

松材

院</

町村財政の窮迫から 入遠野の村農會廢止計画と

玉川の割當て負擔納回避

黒田督學官

新規事業は行はぬ

工事入札

隣縣大津で活躍

社民黨磐城支部長

貨物五本を休止

到底負擔に堪えぬと

糾糾の危機を孕む

飯野村で力説か

外科

春衣新柄御案内

診察無料

平新川町十九

火打合練習

二井吳服店

眼科

藤田女學校生徒募集

平陽女學校入學案内

春衣新柄御案内

耳、鼻、喉、瞼

大和田醫院

水產會役員

金儲け内しよ話

花見客の歓迎施設

御念入りの注意

無駄には使ふなと

鶴首して待ち草疲れた

御念入りの注意

到底負擔に堪えぬと

糾糾の危機を孕む

春衣新柄御案内

外科

藤田女學校生徒募集

投書

連絡

寄稿

所

の水害復舊工事入日を行

ふが工事豫算は三萬圓であ

ると、尙同所では今國の工

事は主として失業救済事業

やう注意をなす。

對し特に失業者を使役する

事は主として失業救済事業

やう注意をなす。

ので入れの際各請負者に

對し特に失業者を使役する